

# 広報 ニセコ

昭和51年1月1日 発行

No. 167

ニセコ町役場総務課



あけましておめでとうございます。

たいせつに保存を  
あとでお役に立ちます。

### 町-の-人-口

男……………2,447人  
女……………2,588人  
計……………5,035人  
世帯数…1,336世帯  
(50年11月末現在)

北方圏の新年は冬である。  
それは、雪と氷によつて代表される。  
雪で、家や、道が埋もる日も、吹雪の試練に見舞われる日もあるだろう。  
しかし、すべて森羅万象のひとつの事象に過ぎない。  
いにしえより自然はわれわれ人間と共存している。  
わたくしたち北方圏の人々は、冬を楽しむ時代へ。そして、もつと積極的に冬を活用する時代へと努力しよう。  
ことし、ニセコ町を会場に開催される冬の大きな行事、よつぎのとおりです。

2月11日

道民スポーツ後志冬季大会

3月14、15日

第1回北海道雪の祭典

昭和51年 **1** 月号

# 年頭のごあいさつ



ニセコ町長 遠藤 京作

希望に輝く昭和五十一年の新春を町民のみなさんとともに迎えることができましたことを、心からお喜び申し上げます。

かえりみずと、昨年は激動する内外の経済の低迷により、産業活動をはじめ、お互いの生活も、かつてない厳しい環境におかれまして。とくに、本町を襲った台風六号の被害総額は三億五千万円余に達し、収穫期を目前にした馬鈴薯、米などの農作物はかなりの被害を受け、その後、農用施設などの災害復旧に努めて参りましたが規模の大きな復旧工事は、国の査定の関係上、五十一年完成予定となりましたが生産計画に支障のないよう完了したいと考えております。

一方、秋の天候に恵まれ、農作業も順調に進み、心配された種子馬鈴薯の確保、あるいは、水稲などは平年作に近い収穫となり、ま

た、観光産業では、温泉ポールの成功により、ピラ・カミイの温泉プールの新設や、アンヌプリスキー場の施設拡充計画など本町の特性を活かした観光事業の実現に近づくことができましたことも、町民のみなさんならびに関係各位のご努力の賜のと衷心より感謝申し上げます。

町においても、財政的に当初計画しました税収入で約一千万円余の減額となりましたが、予定した町民センターの完成、消防庁舎の着工、近藤地区の水道施設整備、ならびに道路整備、産業振興などの諸事業は、議員各位のご理解と住民の方々のご協力により計画どおり完成の予定となりましたことは誠に喜びとするところであります。

昭和半世紀を過ぎたこととは、激動する世界的な資源の制約により、国の緊縮予算が予想され、当然地方財政に与える影響も必至であります。



ニセコ町議会議員 榎原 伊織

町民のみなさん、明けましておめでとございます。

昭和五十一年の新年をみなさんとともに迎えようと思っております。

昨年は異様な気象とも言える、非常に偏った天候が続いて、町民は一喜一憂を繰り返したのですが、生産農家のみなさんの懸命のご努力と対策の繰り返しの下に収穫期を迎えました。しかし期待に添うような結果を得られなかった上に、価格も低迷状況が続いていることで、町の経済全般の動向は活気あるものが見られなかったこ

先に、社会福祉の向上、産業の振興ならびに、保育所、道路など公共事業の整備拡充などあらゆる問題に対処し、住民福祉向上の行政目的に自身の努力をいたす所存でありますので、町民のみなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

とは、誠に残念なことと考えています。ことに台風五、六号で本道は大きな被害をうけたのですが、当町は比較的災害は軽微であったといえるものの、被災された方々には誠に気の毒に存じており一日も早い復旧を望んで町としても関係機関との対策を急いでおります。

われわれは年頭に当って心をあらたにし、今までの高度成長を続けた経済的発展とそれに伴った生活のあり方から、安定成長をめざす今後の長期的な展望の上になつて、これからの進むべき道を考えて、これから進むべき道を考えながら、明るく住みよいニセコ町の建設のために一層の努力を続け頑張りたいものであります。

## 謹んで新年のお慶びを申し上げます

- ニセコ町役場
- 町長 遠藤 京作
  - 助役 青山 正一
  - 収入役 菊地 哲夫
  - 総務課長 川島 与作
  - 財政課長 高木 清
  - 住民課長 飯原 富
  - 施設課長(喪中欠札) 福井 正男
  - 産業課長 日置 義雄
  - 外職員一同

- ニセコ町議会
- 議長 榎原 伊織
  - 副議長 瀬戸 常重
  - 議員(喪中欠札) 大橋定太郎
  - 吉岡 明男
  - 芳賀 政一
  - 三橋 博
  - 浜本 次一
  - 松原 章
  - 千葉祐一郎
  - 加賀 茂
  - 小川 武雄
  - 酒井 春美
  - 佐藤 和夫
  - 一宮 春雄
  - 今井幸太郎
  - 大場 勇
  - 南谷 良助
  - 梶田 正
  - 横山 利雄
  - 外職員一同



北海道知事 堂垣内 尚弘

道民のみなさん、明けましておめでとございます。

私は、昨年、道民のみなさんの温かい御支持をいただき、再び知事に就任いたしました。が、社会経済情勢が激しく変動している中に新年を迎え、道政推進の決意を新たにしております。

昨年の本道は、台風や大雨によ



後志支庁長 松本 精二

管内のみなさま、明けましておめでとございます。

輝かしい昭和五十一年の新春をみなさまとともにお祝いできますことは、このうえない喜びでございます。

る災害、炭鉱事故が相次いで発生いたしました。不幸にして被災された方がたに對しましては、心からお見舞いを申し上げます。

また、インフレと不況が長期にわたり、産業経済をはじめ道民生活もかつてない厳しい環境におかれまして。

とくに、不況の影響を大きく受けて、企業倒産が続出し、物価についても、鎮静化の方向をたどっておりますが、必ずしも楽観を許されない状況にあります。

私は、このような情勢に対処し物価と不況対策を当面の緊急課題とし、道民の生活不安の解消に全力をあげてまいりましたが、今後とも、「生活優先」「道民主体」「中道・公平」の三点を基本に、できる限りの施策を実行していく

います。

昨年は、八月に全道を襲った五号、六号台風により、管内は多大の被害を蒙りましたが、農作物につきましては、平年作又はそれ以上の作物となりました。これは、ひとえに管内各市町村長をはじめ地域住民のかたがたのみなみなならぬ努力の結果と存じ、深く敬意を表する次第でございます。

さて、昨年の昭和五十年国勢調査の結果をみますと、管内の人口の減少は郡部で四十五年の国調対比で六多小樽市で三、九多と、他の支庁に比較しますと相対的に低率ではあります。依然として過疎化の進行がみられる状況にあり

ます。

このことは、私共の後志のもつている潜在的な発展可能性を将来に向つて十二分に発揚して、魅力あふれる産業の振興と生活環境の創出のために、民間も行政も一体となつて更に一般の努力を傾注する必要があることを示しているものと思ひます。

私としては早速この事実を認め、積極的に対応しようとする考えであります。今後とも住民各位の一層の御協力をお願いいたします。

期待は、まことに高いものがあります。

私は、北海道こそ、北方にふさわしい個性豊かな発展が見込まれる希望の地であると確信しております。昨年来、北海道の大きな可能性をふまへながら、生活福祉の向上を基本に、新計画の策定にあつておりますが、この計画は、本道の将来を方向づけるものにはかなりません。すでに、多くの方がたから、この計画について貴重な御提言をいただいております。今後さらに御意見をうかがい、道民参加の新計画をつくりあげたいと思ひます。

本年は、今なお景気が停滞しているなど、前途に多くの困難が予想されます。

新しい年のはじめにあたり、所信の一端を申し上げ、みなさんの一層の御協力をお願いいたしますとともに、御多幸と御健康を祈念し、年頭のごあいさつといたします。

表示する私共の後志に、この行事を定着させたいと考えておりますので、よろしく御協力して頂きたいと存じます。

不況下における諸物価の高騰や交通事故その他の難かしい問題もございりますが、今後とも住みよい明るい郷土後志をつくりあげたいため、なお、一層の御力添えを賜わりますようお願いいたします。

# いよいよぼくも わたしも1年生

教育委員会では、ことしも小学校へ入学する子どもさんの名簿を作成しました。入学する子どもさんは昭和44年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた方です。名簿にもれている方や、現在住所の変更になっている方、または健康の都合により入学できない子どもさんについては、早めに教育委員会へ連絡してください。

*二セコ小学校	
(本通一)	安孫子山紀
(本通二)	前田 哲
(本通三)	前田 紀代
(本通四)	鎌田 裕美
(本通五)	南 正剛
(本通六)	坂本 陸之
(本通七)	中野 ユカリ
(本通八)	斉藤 裕美
(本通九)	小野 浩之
(本通十)	佐々木 学
(本通十一)	藤谷 寿子
(本通十二)	大石 聡子
(本通十三)	田中 修
(本通十四)	小見あき
(本通十五)	島原香代子
(本通十六)	東 美与子
(本通十七)	葛西 礼子
(本通十八)	佐竹 孝幸
(本通十九)	吉岡 利恵
(本通二十)	吉岡 寛美
(本通二十一)	富士見 寛
(本通二十二)	生田 幸子
(本通二十三)	生田 幸子
(本通二十四)	木皿 裕子
(本通二十五)	片岡 直子
(本通二十六)	(中央三)
(本通二十七)	松本 洋子
(本通二十八)	(中央五)
(本通二十九)	(中央七)
(本通三十)	(松岡)
(本通三十一)	(元町)
(本通三十二)	(新興)
(本通三十三)	五十嵐章二
(有島)	岡本 正治
(有島一)	新沼 浩起
(有島二)	佐々木佳子
(有島三)	高橋 恵美
(有島四)	堀 和美
(有島五)	大橋 敏範
(有島六)	増原 淳
(有島七)	中西 靖宣
(有島八)	四ノ宮義博
(有島九)	古渡 一徳
(有島十)	中野小津恵
(有島十一)	金子 智恵
*近藤小学校	
(光栄)	佐藤ゆき子
(共栄)	森崎 幸三
(東)	本間 栄一
*宮田小学校	
(宮田)	高木まゆみ
(黒川)	笹塚 成之
(黒川)	渡辺 直子
*福井小学校	
(福井)	川原 英之
(相馬)	高橋 憲安
*藤山小学校	
(尾上)	吉原千恵子
(藤山)	佐竹 武人
(藤山)	角田剛志郎
(藤山)	外山 満也

12月	1日	青年学級入講式
12月	1日	1日
12月	1日	20日
12月	7日	地籍調査東部地区閲覧
12月	8日	近藤地区簡易水道通水式
12月	8日	保健委員会議
12月	10日	民生委員協議会
12月	10日	ニセコ高校プロジェクト実績発表会
12月	12日	22日
12月	15日	第十回ニセコ町議会定例会
12月	16日	道民スポーツ冬季大会
12月	16日	選手選考会
12月	16日	社会教育委員会議
12月	16日	中央家庭教育学級運営委員会
12月	17日	農業委員会総会
12月	17日	と畜場運営協議会
12月	18日	特別職報酬等審議会
12月	18日	寿大学
12月	20日	青年会議所発会式
12月	20日	補導連絡協議会
12月	23日	体育指導委員会議
12月	27日	御用納
2月11日		道民スポーツ
2月11日		後志冬期大会
2月11日		ニセコ町で開かれる
2月11日		種目 大回転競走、距離競走、技、飛躍競走
2月11日		会場 太平洋クラブニセココモイワスキー場、桜ヶ丘ジャンプ台

## 町の目録

ニセコ町農業委員会	会長 工藤 正人
	会長代理 一条 敏夫
	委員 西村 正之
	委員 田中 正之
	委員 大場 勇
	委員 大田 信平
	委員 亀田 満吉
	委員 佐藤 秋一
	委員 浜塚 房雄
	委員 伊藤 孝三
	委員 千葉 二郎
	委員 横山 義秋
	委員 大橋 櫻太郎
	委員 佐竹 貞雄
	委員 工藤 東次郎
	委員 外職員 春日井 亨
	委員 外職員 一同
ニセコ町教育委員会	委員長 佐藤 敏之
	委員 大木 勉
	委員 加賀谷 昭二
	委員 鈴木 喜市
	委員 戸 義雄
	委員 森脇 春巳
	委員 外職員 一同
ニセコ町社会教育委員	委員長 金森 正則
	委員 本間 岩男
	委員 米坂 正利
	委員 樋谷 吉太郎
	委員 伊藤 孝太郎
	委員 榎原 和雄
	委員 片山 幸作
	委員 浜塚 涼子
	委員 大木 和子
	委員 佐藤 初一
ニセコ町民生委員	総務 渡辺 富一
	副総務 大栗 岩夫
ニセコ町青少年問題協議会	会長 遠藤 京作
	副会長 佐藤 敏之
ニセコ町学校給食センター	運営委員会
	会長 米坂 正利
	副会長 千葉 祐一郎
	学校給食センター長 沼田 三美
	外職員 一同
ニセコ町民センター	館長 一戸 義雄
	副館長 森脇 春巳
	係長 玉井 外二郎
ニセコ町立保育所	所長 吉村 民司
	外職員 一同

## 保育所の入所手続は.....

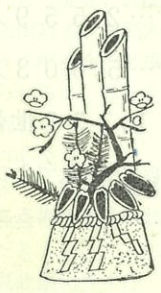
1月31日までに



住民課社会係では、昭和51年度中に保育所に入所させたい方の入所申請を受付けております。希望される方は、つぎのことに留意され、1月31日までに申請手続をして下さい。

- ◎入所できる基準(満18ヶ月以上)
  - (1) 母親が家庭外労働に従事している場合
  - (2) 母親が家庭内労働に従事している場合
    - 但し、父親がその業に従事し同居の親族、使用人がいる家庭を除く
  - (3) 母親がいない場合
  - (4) 母親が出産の前後であったり病氣または身障者の場合
  - (5) 母親が病人や身障者の看護等に当たっている場合
- ◎申請書に添付する書類
  - (1) 場合Ⅱ雇用主の雇用証明書または給与所得の源泉徴収票の写し
  - (2) 場合Ⅰの場合
    - イ 農業の場合は農業委員会の農業従事者証明書
    - ロ 商業の場合で、白色申告者は商工会の従事者証明書
    - ハ 商業の場合で、青色申告者は専従者給与の源泉徴収票の写し
    - ニ 会社の場合は給与所得の源泉徴収票の写し
  - (3) 場合Ⅱ母親の除籍抄本
  - (4) 場合Ⅱ医師の診断書または妊婦届出証明書(衛生係)
  - (5) 場合Ⅱ福祉手当の認定通知書の写しまたは介護手当認定通知書の写し
- ◎申請書記載上の注意事項
  - (1) 入所児にふりがなを必ずつけてください。
  - (2) 生年月日は間違いないよう記入して下さい
- ◎入所手続の問合せ
  - 役場社会係 電話二二二二番
  - 有線二二三三番
  - 電話二二四六番
  - 有線二四七五番
  - 保育所 有線二四七五番
- ◎入所決定の時期
  - (1) 入所決定は二月中に行ない、決定通知書により通知します。
  - (2) 却下の場合も通知しますが、条例の定めにより次の場合該当されません。
  - (3) 伝染病その他悪質な疾患を有するもの
  - (4) 身体が虚弱で集団保育に耐えないもの
  - (5) 精神病または悪癖を有するもの
  - (6) 募集定員を超えた場合、保育に欠ける程度が低いと思われるもの
- ◎申請書の用紙等
  - (1) 申請用紙等は社会係または保育所に用意してあります。
  - (2) 申請書は現在入所児童であっても五十一年度分は新規に提出して下さい。
  - (3) 職業は必ず記入し備考に勤務先を記入して下さい。
  - (4) 課税の有無に○印をつけ給与所得の場合は源泉徴収票の写しを家族の分と一語に添付して下さい。
  - (5) 希望期間は何月から何月までまたは何ヶ月と記入して下さい。
  - (6) 入所理由は入所基準の番号のみを( )内に記入して下さい。

ニセコ町定産産 評価審査委員会	委員長 渡内善太郎
	委員 青山 進
	委員 桐山 勝男
ニセコ町消防団	団長 渡内善太郎
	副団長 清水 勝義
	外団員 一同
ニセコ町産業振興委員会	委員長 榎原 伊織
	副委員長 瀬戸 常重
ニセコ町観光審議会	会長 佐藤 初一
	副会長 榎原 和雄
ニセコ町選挙管理委員会	委員長 工藤 賢司
	委員 三ツ本 象造
	委員 南谷 良助
ニセコ町民生委員	総務 渡辺 富一
	副総務 大栗 岩夫
ニセコ町青少年問題協議会	会長 遠藤 京作
	副会長 佐藤 敏之
ニセコ町学校給食センター	運営委員会
	会長 米坂 正利
	副会長 千葉 祐一郎
	学校給食センター長 沼田 三美
	外職員 一同
ニセコ町民センター	館長 一戸 義雄
	副館長 森脇 春巳
	係長 玉井 外二郎
ニセコ町立保育所	所長 吉村 民司
	外職員 一同



# 冬山の遭難をふせよう

本格的な冬山のシーズンがやって来ました。「慎重な行動があなたを守る」ことを忘れず、つぎのことがらを必ず守って下さい。

◎登山計画は綿密に  
・山を選ぶ前にまずパーティーを選び、次にパーティーの体力、技術経験に応じた山を選ぶことが大切。

・冬山は悪天候が普通です。予備の日をゆゆうぶんにとり、無理のない、余裕をもった日程を組もう。

◎装備と食糧は十分に

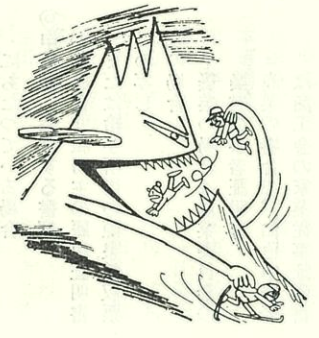
・冬山では、吹雪や豪雪のため、行動不能になることが、しばしばあります。最悪の状態に備えて装備と食糧は十分に準備しましょう。

・冬山は気象の変化がはげしいので、必ずトランジスタラジオを持って行き、気象情報をキヤッチしましょう。

◎行動は慎重に

・常に気象状態に注意し、天候が悪化したときは計画を変更し、安全な場所に留まるか引き返す勇氣をもちよう。

・荒れた天候等によりコースを迷ったときは、落ちついて自分の位置をたしかめてから行動しましょう。



◎登山届けを出そう

・出発前に登山計画を作り、警察が所属する山岳会、職場、学校等に出し、行動日程を明らかにしておこう。

## 地籍集成図のご利用について

昭和47年度一筆地調査を致しましたニセコ町字福井、黒川、網丘、宮田の一部と富川、里見地区の地籍図及び地籍集成図が出来上りましたので利用下さい。これからは地籍図が基本となりますので利用される方は財政課地籍調査係まで申し出て下さい。なお、東部地区字近藤、豊里、元町、羊蹄と有島の一部は51年2月末には完成致しますのでお知らせ致します。

<地籍調査係>

## ニセコ町の国勢調査結果概数

人口 男…2,444人  
女…2,559人  
計…5,003人

世帯数…1,357世帯

ただし、この数字は概数ですので総理府統計局集計の数字と異なることがあります。

### 除雪=こんな点にご注意を

- 雪を路上に投げ出さないように
- 自家用車での雪捨ては横過ぎに注意
- 路上でのソリ、スキー遊びは危険
- 路上駐車は除雪の敵、故障車は目印を
- 子供たちは除雪車に近づくと危険
- 除雪車には道をゆずりましょう
- 除雪作業は町内みんなで力を合わせて

## ニセコ高校だより

1. 昭和51年度ニセコ高校生徒募集要領
- (1)募集人員 農業科40名
  - (2)入学資格 中学校の卒業又は同等以上の学力を有するもの
  - (3)願書受付 昭和51年1月21日(水)~27日(火)
  - (4)学力検定 昭和51年3月4日(木)~5日(金)
  - 場所 ニセコ高校
  - (5)合格者の発表 3月16日(火)
2. ニセコ高校地区PTA並にH.P三者懇談会開催

日程	地区名	会場	時間
1月17日(土)	福井地区	ニセコ高校	9:00~17:00
	川北	〃	9:00~17:00
19日(月)	中央	〃	9:00~17:00
	近藤	〃	9:00~17:00
20日(火)	蘭越	蘭越公民館	9:00~17:00

生徒は13時H.P記録簿持参で集合して下さい

## 高校花だより

真冬を迎えて温室にはシクラメン、プリムラをはじめ各種の草花が所せましと咲きほこっています。機会をみて是非ご購入いただき、ゆとりのある生活をおくり下さい。

アザレア	4号	350円
シクラメン	4号	400円
〃	3.5号	300円
サイネリア	4号	350円
プリムラ	4号	350円

ただし、12月29日~1月3日までは販売していませんのでご了承下さい。

## 共同募金・才末たすけあいに 善意ありがとうございました

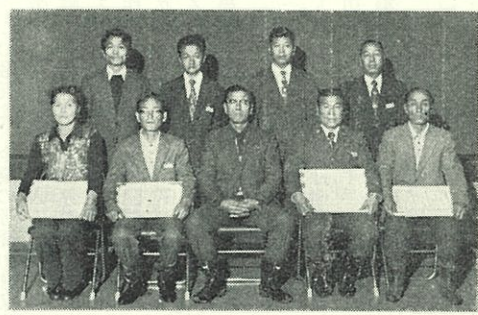
10月1日より実施しました赤い羽根共同募金運動につき、格別なるご援助とご協力を賜り12月15日現在、次のとおり多額の募金が寄せられました。また歳末たすけあい義援金も次のとおりです。ご協力いただきましたみなさまに厚くお礼申し上げます。

これらの募金、義援金は民生委員協議会において生活困窮者、長期入院、施設等に入所されている方々に町社会福祉協議会を通してお見舞金として贈られることになりました。

戸別募金	158,515円
大口募金	160,000円
歳末たすけあい義援金	82,700円
町社会福祉協議会に対し、福祉事業にご寄附をいただきましたことに対し厚くお礼申し上げます	
深貝政雄氏外4件	302,420円

## 体育功労賞とスポーツ奨励賞の表彰が行なわれました

- 昭和五十年年度、体育協会表彰規定が制定され、体育協会設立以来体育振興に寄与された次の方々が表彰されました。
- 体育功労賞
- 柿本 春雄氏 陸上・スキー
  - 久保田春芳氏 剣道
  - 飯原 富氏 陸上
  - 沼田 三美氏 陸上・野球
  - 中村 豊氏 野球
  - 香田 碩氏 陸上
- スポーツ奨励賞
- 有原とし子氏 陸上
  - 岡田 弘氏 陸上



## 水道の凍結にご注意

### 給水栓の正しい使い方

- (1)水を出すとき  
ハンドルは、必ず全開にしてください。
- (2)冬、水を止めるとき  
●不凍給水栓は  
水をいきおいよく出してからハンドルを止めてください。  
●耐寒給水栓は  
じや口のハンドルを全開にして水を流しながら給水栓のハンドルを完全に閉めてください。
- (3)もし凍つたとき  
じや口等にタオルか布切れをまいて湯をかけてください。それ

### 故障の見分け方

- ハンドルをしても水が止まらない。ハンドルがからまわりする、あるいは、とくに重くなる。
- ハンドルや、じや口をしめてもどこかでシューと音がする。このようなときは、故障ですから水道係へ連絡してください。

## 国旗の掲揚について

世界の国々には、その国を代表する方法として、デザインや色による国旗が用いられております。それは、国の歴史を認識し、現在に努めそして感謝し、未来への発展のための民族的連帯意識を表わし、諸行事に用いられております。

このほど開かれた、ニセコ町ライオンズクラブ(会長遠藤京作)の例会で、会員は、祝祭日には率先して国旗を掲揚することを申し合されました。

### 「感じがい」が多い 老令年金

現在、七〇才以上の方が保険料の負担なしで受けているのが「老令年金」です。

この年金は七〇才になると誰れでも受けられると思つてゐる人が多いようですが、これは大変な間違いです。明治四四年四月二日以降に生まれた人で厚生年金、共済組合などに加入してゐない人は国民年金に加入しなければ、将来どこからも老令年金が受けられません。

#### 国民年金にはどんな人が加入する

厚生年金、船員保険、各種共済組合などの公的な年金制度に加入できなかった農林漁業、小企業、サービス業などの自営業者やその家族、あるいはその従業員を加入対象とした年金制度です。この制度の創設により、国民は必ずどれかの年金制度に加入することになったわけです。

#### ◎強制加入被保険者

日本国民で国内に住所を有する明治四四年四月二日以降に生れた二十才以上六〇才未満の人は原則としてすべて加入しなければならぬことになっています。ただし他の公的年金制度（厚生年金保険、共済組合など）の加入者とその配偶者は除かれます。

#### ◎任意加入被保険者

厚生年金保険や共済組合などに加入してゐる人の配偶者（サラ

リーマンの奥さん）他の制度による年金や恩給などを受けている人は希望によつていつでも加入することが出来ます。

#### ◎附加年金制度

将来、より多い給付を受けたい人は、保険料を上積みして納める附加年金に加入することが出来ます。金額は月額四〇〇円です。詳しいことは役場社会係にお問い合わせ下さい。

#### 社会係

#### 融資制度、給付金奨励金などのご案内

##### 雇用促進融資

この融資は、企業の労働力確保労働者の福祉増進を図るため公職安定期所の紹介で労働者を雇入れる事業主（事業主の団体）に住宅や福祉施設等の設置・整備に必要な資金を長期、低利に融資する制度です。

##### 受付期間

昭和五十一年一月三十一日までただし、申込みが融資枠に達したときは、申込み受付期間中でも締切ることがあります。

##### 融資対象の施設

労働者住宅（社宅、寄宿舎など）  
福祉施設（保健、給食、教養文化託児及び購買施設など）  
職業訓練施設（教室、実習場など）  
と訓練用機械）  
通年雇用設備（建設業、建設用粘土製品の製造業、採石業及び砂利

又は玉石の採取業、一般製材、セメント製品製造業及び水産加工業で、通年雇用に必要な機械、施設（など）  
身体障害者作業施設（身体障害者のための作業施設、作業設備備品）  
借入れ資金に対し、道が独自の利子の一部を補給します。）  
心身障害者多数雇用事業所施設（作業、管理及び福祉施設並びに設備）  
融資率 標準建設費などに基づいて算定された額の中小企業は八〇％、九〇％以内、大企業などは七〇％、八〇％以内

利率 中小企業、年八、〇％（融資対象施設により年四、六％）  
大企業年八、五％  
償還期間 五年以内、三〇年以内（融資対象により異なる）  
問合せ先 雇用促進事業団札幌支部（札幌市中央区北一条西五丁目北一条ビル内 電話〇一一二六一一五三〇六番）

#### 自動車安全運転センター開設

昭和五十一年一月一日から特殊法人自動車安全運転センターが発足し北海道においても、各方面に事務所が開設され、次の業務を始めます。

#### ◎交通安全証明書の発行

（証明書一枚につき四〇〇円）

現在警察署が発行してあります交通安全証明書は、五十一年一月一日から、センターの北海道事務所が発行します。

証明書の必要な方は、申請書（郵便振替用紙に印刷したもの）に手数料を添えて、最寄りの郵便局から申し込んで下さい。

申請書は警察署、派出所、駐在所にありませう。証明書は郵便でお届けします（センター事務所まで直接申し込んだ方には、窓口でお渡しします。）

#### ◎運転経歴証明書の発行

（証明書一枚につき六〇〇円）

自分の運転経歴について、無事故、無違反の証明の必要な方や交通違反の現在の点数を知りたい方などに、本人の申請により証明書を発行します。

申込みの方法は、交通安全証明書の場合と同様です。申請書は、警察署、派出所、駐在所にありませう。

◎免許停止直前の点数通知  
交通違反などの点数が、運転免許の停止処分を受ける直前（停止前歴のない者四、五点停止前歴一回の者二、三点）の点数になった方に、センター事務所から郵便でお知らせします。

◆センターの北海道事務所は  
郵便番号〇六四  
札幌市中央区北三条西二〇丁目四番一〇  
北海道警察本部運転免許管理課内  
自動車安全運転センター北海道事務所（電話〇一一六四三三三〇一）

◆詳しいことは北海道警察本部運転免許管理課（電話〇一一二二二二二）または、最寄りの警察署、派出所、駐在所でお尋ね下さい。

#### 警察署

## 戸籍の窓口

11月21日から  
12月20日まで

#### ご結婚おめでとう

小田切 修 = 庄司テイ子（尾ノ上）  
林 隆司 = 市村 孝子（みずほ）  
猪狩 一郎 = 高橋志保子（宮田）

#### お誕生おめでとう

小田切由季 男 （尾ノ上）  
西本ひろみ 茂男 （中央2）  
山田 理奈 光秀 （本通団地）  
吉野美ゆき 利一 （本通3）

#### おくやみ申し上げます

藤本房次郎 76歳 （本通3）  
八巻志つか 85歳 （東山）  
高田 キン 86歳 （宮田）